学校番号	201

平成 31 年度　地理歴史科

教科	地歴・公民	科目	日本史Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校日本史Ａ新訂版　（清水書院）						
副教材等	最新日本史図表二訂版　（第一学習社）改訂版詳録新日本史史料集成（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

わが国の近現代の歴史の展開について国際環境や地理的条件などと関連づけ、世界の中の日本という視点から考察する。

客観的かつ公正な資料に基づいて、事実を正確に理解し、多面的・多角的に考察し公正に判断する能力を養う。その際、核兵器などの脅威に着目し、戦争を防止し、平和で民主的な国際社会を実現することが重要な課題であることを理解する。

2　学習の到達目標

わが国の近現代史の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付け、現代の諸課題に着目し考察することによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きるの本国民として自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	平常の授業に取り組む姿勢、定期考査の結果、提出物の内容、授業中の発言内容などにより総合的に観察する。	とくに提出物、レポートの内容。授業中の教員の発問に対する応答の内容などから判断する。	この場合書くこと、しゃべることのなかでの適切さ、巧みさを重視する。	歴史事項の内容、その流れについて適切に理解されているかが重要である。
評価方法	どれだけ授業に前向きに取り組んだか、定期考査にいかに準備し取り組んだか、提出物の期限を守れたか、またその内容、授業中の発言内容で評価する。	レポートの内容が求められていることにあった内容になっているか、その表現。授業中の応答についてはその内容・表現で評価する。	教員側の求めている内容について、適切に表現できているか、伝えられているかが評価される。	定期考査の結果、レポートの内容、授業中の応答の内容で評価される。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	近代史を学ぶ前	1、 東アジアと日本の文明化 2、 ユーラシア世界の激動と武家幕府の形成 3、 幕藩体制の成立と東アジア世界		○			a:授業への取り組みの姿勢 b:レポートなどの書き方 c:うまい書き方、しゃべり方 d:知識の定着	内容・表現で評価
	序編	1、 日本の近代史とアイヌの人権 2、 近代・現代とはどういう時代であったのか	○				a: 授業への取り組みの姿勢 b: レポートなどの書き方 c: うまい書き方、しゃべり方 d: 知識の定着	内容・表現で評価
	第1編第一章	第一章国際環境の変化と幕藩体制の動揺 1、 19世紀の世界とアジア 2、 外国船の来航と海防 3、 新しい学問と思想 4、 社会の変化と農民の動向 5、 幕藩体制の動揺と幕政・藩政改革				○	a: 授業への取り組みの姿勢 b: レポートなどの書き方 c: うまい書き方、しゃべり方 d: 知識の定着	内容・表現で評価
	第二章	第二章明治維新と近代国家の形成 1、ペリー来航と日米和親条約 2、通商条約の締と安政の大獄 3、貿易の影響と尊皇攘夷 4、討幕運動の展開 5、幕府の滅亡と新政府の成立 6、近代国家の成立と国民の登場 7、地租改正と殖産興業 8、文明開化 9、明治初期の国際関係 10、国境の画定と北海道の開拓 11、不平武士の反乱と日朝修好条約				○	a: 授業への取り組みの姿勢 b: レポートなどの書き方 c: うまい書き方、しゃべり方 d: 知識の定着	内容・表現で評価

	第三章	第三章立憲政体の成立と国際的地位の向上 1、自由民権と政党の結成 2、松方財政と民権運動の激化 3、立憲政体の確立 4、初期議会と条約改正 5、日清戦争 6、日清戦争後の政治と日英同盟 7、日露戦争 8、ポーツマス条約と満州・樺太 9、韓国の植民地化 10、近代産業の発展 11、社会問題の発生と政府の対応 12、明治の思想・学問・文化	○				a：授業への取り組みの姿勢 b：レポートなどの書き方 c：うまい書き方、しゃべり方 d：知識の定着	内容・表現で評価
二学期	第二編第一章	第一章第一次大戦と日本 1、護憲運動と大正デモクラシー 2、第一次世界大戦への参戦と国際関係の変化 3、大戦景気と米騒動 4、政党内閣の成立と戦後恐慌 5、ベルサイユ体制 6、国際連盟の成立とワシントン体制 7、社会運動の高まり 8、関東大震災と政党内閣の時代 9、大衆文化の成立				○	a：授業への取り組みの姿勢 b：レポートなどの書き方 c：うまい書き方、しゃべり方 d：知識の定着	内容・表現で評価

	第二章	第二章第二次世界大戦と日本 1、金融恐慌と外交政策 2、世界恐慌と昭和恐慌 3、満州事変と国際連盟 4、2. 26事件と日中戦争 5、第二次大戦と日本 6、日独伊三国同盟と日米の対立 7、アジア太平洋戦争の勃発 8、日本占領下のアジア 9、戦時下の国民生活 10、日本の敗戦		○			a: 授業への取り組みの姿勢 b: レポートなどの書き方 c: うまい書き方、しゃべり方 d: 知識の定着	内容・表現で評価
三学期	第三篇第一章	第一章戦後政治の動向と国際社会 1、占領と改革 2、占領下の政治と労働運動 3、日本国憲法の制定 4、冷戦と占領政策の転換 5、大戦後の国際情勢と日本の独立 6、戦後の国民生活と文化	○				a: 授業への取り組みの姿勢 b: レポートなどの書き方 c: うまい書き方、しゃべり方 d: 知識の定着	内容・表現で評価
	第二章	第二章経済の発展と国民生活の変化 1、55年体制の成立 2、平和運動と安保運動 3、高度経済成長 4、高度経済成長期の日本と世界 5、安定成長から経済大国へ 6、経済大国への道			○		a: 授業への取り組みの姿勢 b: レポートなどの書き方 c: うまい書き方、しゃべり方 d: 知識の定着	内容・表現で評価
	第三章	第三章現代の日本と世界 1、世界史の転換　冷戦の終結と「昭和」の終わり 2、55年体制の崩壊 3、21世紀をむかえて 4、こんにちの世界と日本の課題				○	a: 授業への取り組みの姿勢 b: レポートなどの書き方 c: うまい書き方、しゃべり方 d: 知識の定着	内容・表現で評価

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。